

各務原市総合計画の達成状況について【まちづくり推進会議 委員意見抜粋】

| 意見等 | 回答 | 基本目標 |
|--|--|-----------|
| <p>今回の総合計画達成指標の検証は、全体の目標に向かい、それぞれの組織において、何が課題であるかを認識し、見直しを行うことが明示されているという点では、評価できるものである。</p> | | <p>全体</p> |
| <p>どれだけ目標が達成できているかを数値で確認していくことは必要であるが、数値だけでなく、内容の濃さや参加された方がどれだけ実感できたのかという点についても、市は把握していただきたい。</p> | <p>いろいろなイベント・講座等では、受講を終えた後にアンケートをとり、その中で出たご意見を次年度以降の事業に繋げております。今後もアンケート結果を踏まえ、内容を充実させ、より満足してもらえよう企画のブラッシュアップを行っていきます。</p> | <p>全体</p> |
| <p>ひとつの事業に対しても、いろいろな側面があるので、市が横断的に取り組むことにより、別の面からも繋げていくなど、複眼的な目線を持った取り組みも検討されたい。</p> | <p>現在、寺子屋事業やシティプロモーション事業では、組織横断的に横串を入れ、事業本来の目的に加え、教育や市のPRに繋げていく取り組みをしております。今後、横断的に取り組んでいく必要性は高まってくると考えますので、様々な分野で積極的に取り組んでまいります。</p> | <p>全体</p> |
| <p>主観的指標は検証が難しい評価であると感じるが、現状値より下がっている指標がいくつもある中で、担当課評価のほとんどが「目標値に対して順調に進んでいる」というのが疑問である。現状値より下がっているのは何かしら原因があると理解し、アクションする側の自己満足で終わってしまうのではなく、カイゼンの余地を検討していく取り組みをされたい。</p> | <p>初めて事業評価に取り組んだということもあり、担当課が行っているアウトプットの指標と主観的指標であるアウトカム指標の捉え方に差がありますので、この差のマッチングについて、今後見直し・検討してまいります。</p> | <p>全体</p> |
| <p>主観的指標と指標に関連する事業に乖離を感じる部分もある。また、目標と現場の乖離についても理解して検証を行わないと、すれ違ってしまふ点もあるのでご留意いただきたい。</p> | <p>主観的指標は、直接事業とリンクさせるのが難しいものもあり、幅広く捉えているものが多いので、単独の事業のみで測れるものばかりではないと考えております。また、現場の状況を把握した上で検証を行うよう今後留意してまいります。</p> | <p>全体</p> |
| <p>主観的指標について、すべての取り組みではなく、コアな部分に関しては必ず上げるというようなメリハリをつけた取り組みについても検討されたい。</p> | <p>「市民協働」、「子育て・教育」、「産業・雇用」など、特に重要な指標に関しては必ず成果をあげるようなメリハリをつけた取り組みも必要だと考えますので、いただいた意見を参考にさせていただきます。</p> | <p>全体</p> |

| 意見等 | 回答 | 基本目標 |
|---|---|-------------------------|
| <p>「市民のアイデアや意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」は増えているが、「まちづくりに関わりたいと思っている市民の割合」が減っているということに対し、もっと気軽にまちづくりに参加できるような仕組みを検討し、来るのを待つのではなく、行政からどんどん出向いていくなど、普段の会話の中から課題を見つけていくような視点も持っていただきたい。</p> | <p>市では、行政とのパイプ役となるエリア担当職員を市内4箇所に配置しておりますので、エリア担当職員にもっと地域に出向いてもらい、情報交換や意見収集を行うことなどで補完できればと考えます。 また、地域に関わる事業については、地元住民の方とWSを行い、広く意見を反映させてまいります。</p> | <p>①市民協働</p> |
| <p>市民協働モニターを指名し、普段からいろいろなところを周っていただき、意見を聞くような取り組みも検討されたい。</p> | <p>他市で市民協働モニターを取り入れている事例等を参考にし、検討してまいります。</p> | <p>①市民協働</p> |
| <p>「子どもが将来に夢や目標があると答える児童生徒の割合」が下がっていることについて、現在実施している事業に加え、子どもたちにもっといろんな世界を見せてあげたり、視野を広げるような様々なアプローチを検討されたい。</p> | <p>「学校教育」の中ではなく「青少年教育」や「学びの機会」など、あらゆる分野で視野を広げられるようなアプローチを行い、「子どもが将来に夢や目標があると答える児童生徒の割合」を高めてまいります。</p> | <p>②教育・文化・スポーツ</p> |
| <p>「子育てしやすい環境が整っていると感じている市民の割合」が6割程度というのは、まだまだ低いと感じる。現状に満足せず、「子育てについて相談する人や場所があると思っている市民の割合」を増やす努力も併せて行うことで、「住み続けたいと思う市民の割合」の増加に繋げていただきたい。</p> | <p>「子育て」に関しては、特に重要な部分でありますので、現状の数値に満足することなく、引き続き積極的な施策展開や子ども館のPR等を行い、数値の向上を目指してまいります。</p> | <p>⑤福祉・社会保障</p> |
| <p>「老後も安心して暮らせると思う市民の割合」は25.8%と3割にも満たないが、「住み続けたいと思う市民の割合」は73.5%となっている。住み続けたいと思っても、老後は安心して暮らせると思っている人は3割にも満たないというのは、矛盾しているように感じるので、その内容について、把握・分析していただきたい。</p> | <p>大まかな傾向については把握・分析できているところもありますが、まだまだ分からない部分もありますので、引き続き分析していきたいと考えております。</p> | <p>⑤福祉・社会保障 ⑧産業</p> |
| <p>「地域ブランド調査による本市の魅力度」について、3.5点から1.4点に下がっており、その内容の把握を行っていただきたい。また、目標の7点を達成するために、もっと「住みたい」と感じてもらえるような施策を検討されたい。</p> | <p>こちらの指標は民間団体が行っている数値の調査となり、全国3万人のアンケート回答者から抽出した結果で点数がつかます。知名度を上げる取り組みも必要となりますし、昨年度策定したシティプロモーション戦略に基づき施策展開することにより、「住みたい」と感じてもらえる取り組みも同時に行ってまいります。</p> | <p>⑧産業</p> |
| <p>市にとって「産業」は重要な部分であるので、「支援企業の満足度」が下がっていることに対し、状況をしっかり把握するとともに、銀行など関係機関と連携して取り組んでいくことも重要であると感じる。</p> | <p>「支援企業の満足度」をさらに上げていくため、企業との意見交換を密にし、企業側のニーズにあった展示会出展支援を行ってまいります。また、現在出展している展示会のほかにも効果が見込める取り組みに関しては、積極的に検討してまいります。</p> | <p>⑧産業</p> |